

霧ヶ丘つだ病院では、下記研究のために、受診時に患者さんから取得された診療情報等を研究内容として公開することとされています。

なお、下記研究は九州栄養福祉大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】慢性閉塞性肺疾患患者における健康寿命の関連因子

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者（情報の管理責任者）】

研究責任者、研究代表機関（研究代表者）：霧ヶ丘つだ病院（新貝 和也）

診療情報等の提供先：霧ヶ丘つだ病院

【研究分担施設・研究責任者】

九州栄養福祉大学実施責任者：九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 准教授 井元 淳

研究分担者：霧ヶ丘つだ病院 呼吸リハビリテーションセンター

理学療法士 矢野 志帆理、池内 智之、森 大地

霧ヶ丘つだ病院 呼吸器内科

医師 津田 徹（院長）、一木 克之、自見 勇郎、河野 哲也、加藤 香織

【診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 対象疾患：慢性閉塞性肺疾患
- 2) 詳細条件：2014年1月～2016年12月の間に受診され、呼吸リハビリテーションを実施した方

【診療情報等の項目】

診療情報等：年齢、性別、BMI、肺機能、運動耐容能、下肢筋力、呼吸困難、不安・抑うつ、健康関連 QOL、日常生活活動能力、在宅酸素療法利用の有無、要介護度、同居者の有無

授受の方法： 郵送・宅配 電子的配信 直接手渡し その他（ ）

【研究目的】本研究の目的は、COPD 患者さんの健康寿命に関連する因子を検討し、明らかにすることです。健康寿命に関連する因子が明らかになれば、COPD 患者さんの健康寿命の延伸に向けた治療介入を進めるための一助になると考えられます。

【研究（利用）期間】九州栄養福祉大学倫理委員会承認後から西暦 2025 年 3 月まで

【利益相反に関する事項】本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

霧ヶ丘つだ病院 呼吸リハビリテーションセンター／臨床研究室 新貝 和也

電話：093-921-0438 Email: shingaik@k-you.or.jp